

# 緑の相談所だより

— 第70号 —

2001. 6. 1発行

編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所

## 講習会

### はじめてのバラづくり

日時 6月10日(日) 午後1時半～3時半

講師 旭川市緑の相談所  
相談員 佐野 元雄

参加料 無料 定員 50名

### ハーブ栽培の基礎知識

日時 6月24日(日) 午後1時半～3時半

講師 旭川市緑の相談所  
相談員 佐藤 文男

参加料 無料 定員 50名

### ユリの楽しみ方

日時 7月8日(日) 午後1時半～3時半

講師 旭川市緑の相談所  
相談員 佐野 元雄

参加料 無料 定員 50名

### 親・子の押し花絵づくり

日時 7月22日(日) 午後1時半～3時半

講師 柳川 押し花  
谷口 輝子さん

材料費 大人 500円 子供 300円

持ち物 ペンセット 定員 50名

## 温室の仲間

## ピンポンキ

*Sterculia nobilis*



アオギリ科 中国南部原産

高さ10～17mの高木。

葉は楕円形の単葉で長さ20～30cm、革質。

細い花卉の先が内側にまるくカールした、白色の小さな花を密生し芳香がある。

果実は袋果で長さ10cm前後、褐色で有毛、光沢ある球状黒色の種子が入る。

この種子を焼いたり煮たりして食べると栗のような味がある。(甘味はない)

ピンポンノキとは、中国名「蘋蘂」(ピンパー)の字音による。

植 物 の 名 前 の は な し

かつて自分の子どもに「悪魔」と名付けようとした親がいた。幸い役所でキャンセルされたが、もしこんな名をつけられたらこの子は一生親を恨むことになっただろう。ところで植物にも可哀相な名前のついたものがある。いくつか拾い上げてみよう。

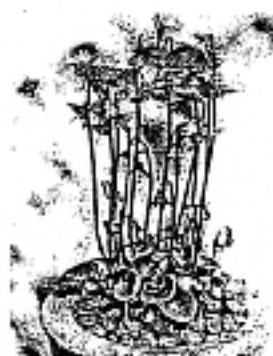
○山野草をやっている人はないて持っている草の中から、

・イワカガミダマシ (学名ソルダネラ。サクラソウ科ソルダネラ属)

アルプスやピレネー山脈などの高山に自生するもので、紫色の弁縁が細かく切れ込んでいる花である。学名のソルダネラは「硬貨」の意で丸く厚みのある葉を見立てたもので立派な種名である。

花形や姿がイワカガミによく似ているのでこんな不名誉な名が付けられた。ちなみにイワカガミはイワウメ科イワカガミ属で道南の深山にも稀に産する。

葉に艶があることからつけられた。花はピンクで髪飾りのように可愛いくあでやかな花形である。私の好きな花であるがなかなか思うように育てくれない。



・サクラソウモドキ

サクラソウに似ているのでつけられた。サクラソウ属とは異なる種のサクラソウモドキ属である。

種を蒔いて育てた苗を知人に上げたところ、「なんだ、モドキ。」かと軽蔑したようにいう。とんでもない。これは北海道の一部にしか自生しない稀な花で私もまだ自生している姿を見ていない。サクラソウよりさらに貴重な種である。

エゾオオサクラソウに似た姿で掌状の葉に白毛が密生している。花は星形漏斗状の紅紫色でうつむきかげんに咲く。稀に白花もある。清楚で気品に満ちた花であるが栽培はかなり気難しいほうである。



○山野で見られる草の中から

・ヘクソカズラ (別名ヤイトバナ)

草全体に悪臭があるので屁糞かずら。悪臭からいたしかたないと思うがこれほど汚い名前は外にない。気の毒でもある。

平地や山地の草原に生えるつる草で、白い筒形の花が咲く。中心部が赤みを帯びてお灸をすえた痕のように見えるので別名ヤイトバナ。



・ママコノシリヌグイ

タデ科の一年草で水辺に生え、長い茎に刺が逆さにたくさん着いている。子どものころこの刺に引っ掻かれて血をにじませたことがよくあった。

夏のころ淡紅色の小さなかわいい花を短い穂状につける。毫子の尻をこれで拭うというのだから実に凄まじい名前である。

近ごろ、幼児を折檻や食物を与えないで死なせる親のニュースを見聞きする。まことに恐ろしくも悲しいことでもある。



## 夏の園芸作業 ～ 6月・7月

### 花木の花がら取り

ツツジ、シャクナゲ、ライラック、ポタン等春に開花した花木類は、7月頃迄に生長し充実した新芽の先に来年の花芽をつけます。実をつけるとこの新芽の生長が遅れ花芽がつかない場合があります。来年のために花がらを摘み取りましょう。また混みすぎる新梢は間引きします。施肥は6月上旬までに株の周囲に化成肥料を少量。

### 球根草花の管理

チュウリップ等秋植え球根は、開花後葉を大切に育て球根を太らせます。花がらを摘み化成肥料を少量株のまわりに施します。球根の掘り上げは葉が完全に枯れてから大小を選別し網袋などに入れ日陰で風乾します。植込は9月過ぎ。

### 花壇草花の管理

暑く乾燥が続く頃、葉色が黄色く褪せてくるのはダニの被害です、ニッソランなどダニ剤を散布します。雨降り後の湿気の多い時には葉や花に茶色のシミがつく病気(ボトリチス)が蔓延します、ダコニール等殺菌剤をときどき散布します。追肥は月に1～2回程化成肥料を少量。咲き終わった花がらは丹念に摘む。

### 庭木等の剪定 「原則としては不適期です」

ひこばえ、胴吹き、新梢の間引き、徒長枝の抜き取りは早めに。新梢の刈り込みは新梢の生長が止まった頃(6月下旬から7月上旬)、猛暑の時期はさける。

### 鉢物の戸外管理

- ・親葉植物 ～ 戸外管理で元気を回復します。葉焼けに注意(徐々に光線に慣らす)
- ・デンドロビウム、シンビジウム ～ 日当たりのよい場所で、水を忘れず、肥料は置肥が手軽(8月中旬すぎたらとる)
- ・シクラメン ～ 涼しい場所で肥料を時々施しながら夏を過ごし、秋に植替え
- ・アマリリス ～ 日当たりの良い場所で、肥料を施し、葉を大きく育てます。

### 果樹の防除

- ・害虫 ～ プラム、ナシ、リンゴの「シンクイムシ」7月に1～2回、「ケムシ」類は発見次第ただちに殺虫剤(スミチオン等)
- ・病気 ～ スモモの「フクロミ病」、モモの「縮葉病」、果実にかびが生える「灰星病」等、発見次第摘果摘葉、土に埋め菌を越冬させない。ダコニール等殺菌剤を雨後に散布(落葉期の石灰硫黄合剤散布が最も有効)

### 野菜

- ・トマト ～ わき芽を早めに摘む、1段目の実が太りだす頃1回目の追肥
- ・ピーマン ～ 下段のわき芽を欠き取る、最初の実は摘果。ナス、ナンバンも同じ。
- ・カボチャ ～ 下段からの側枝を2～3本伸ばし他の側枝は欠き取る、人工受粉
- ・イチゴ ～ ランナーを切り取る。古い株であればランナーから苗を育て、株を更新

## 生長調整物質による生育、開花調節 (ケミカルコントロール)

植物の生育、開花、結果は、植物体内の生長調整物質によって調節されている。近年、このような物質の化学構造が明らかにされ、人工的に合成され、これらの薬品を植物に処理することによって、生長、開花、結果を調節出来るようになった。

このように化学物質を利用して植物の生育、開花を調節することをケミカルコントロールとよんでいる。

このために植物で利用される化学物質にはオーキシン類、ジベレリン、サイトカイニン、エチレン、アブシジン酸、アンチオーキシン、アンチジベレリンなどがある。これらの調節物質の使用目的、関連薬剤は次の表の通り。

生長調節物質	主な使用目的	関連薬剤
オーキシン	発根、生育、促進	オキシベロン (IBA)、ルートン、トランスプラント
ジベレリン	休眠打破、開花促進、茎の伸長促進	ジベレリン
サイトカイニン	分枝促進、着果促進、花数増加	ベンジルアデニン (BA)、ヘルボス
エチレン	開花促進、休眠促進、休眠打破	エスレル、カーバイト、ポバイン乳剤
アンチオーキシン	わき芽の抑制、頂芽優勢打破、落葉促進	ジョンカラー、マレイン酸ヒドラジット (MH-30)
アンチジベレリン	わい化、茎の伸長抑制、花木の着花増加	B-ナイン (SADH)、サイコセル (CCC)、アンシミドール

### 【例：アナナス類 薬剤による開花促進】

- ◆目的………薬剤 (エスレル) を注入したり、散布したり、カーバイト処理などによって、簡単に花芽ができて楽しむことができる。
- ◆作業のポイント……あまり小さな株は用いません。葉数がオオインコアナナスで20枚、エクメアファッシャータで10枚、グズマニア・マグニフィカで20枚、チランドシア・シアニアで40枚くらいの株を用います。カーバイト処理をする場合は、あらかじめ葉筒の中に水を入れておきます。エクメア・ファッシャータのような大株は大豆粒大、グズマニア・マグニフィカのような小さな株は小豆粒大を用います。カーバイトは水と反応してアセチレンガスを発生します。このガスは引火するので、戸外の風通しのよい場所でおこない大量に使用しないでください。
- ◆作業後の管理………薬剤散布をした場合は、処理後2～3日は水を与えません。また雨にも当てません。その後は上から十分に水を与え、葉筒に常に新鮮な水を蓄えるようにします。

### カーバイト処理



処理前のオオインコアナナス

砕いたカーバイド

葉筒のなかにも水もいっぱいに入れる

葉筒のなかにもカーバイドを入れる

カーバイドが水と反応するとアセチレンガスが発生して湯が出る

### 薬剤 (エスレル) を散布する場合の注意

- 葉筒に注入する場合 オオインコアナナス、グズマニア・マグニフィカなどは、エスレルを4000倍に薄めて注入する。エクメア・ファッシャータの場合は1000倍に薄めて注入する。
- 葉全体に散布する場合 オオインコアナナス、グズマニア・マグニフィカなどはエスレルを600～1000倍に薄めて散布する。エクメア・ファッシャータの場合は、500～600倍に薄めて散布する。

